

UHFアンテナ UHFアンテナセット (家庭用)

取扱説明書

UHF ANTENNA

LS56 (5エレメント)

UHF ANTENNA SET

LS56-SET

UHF ch.13~52



ラブストーリー
LOVE STORY

75Ω用(F型端子)

水平・垂直偏波用



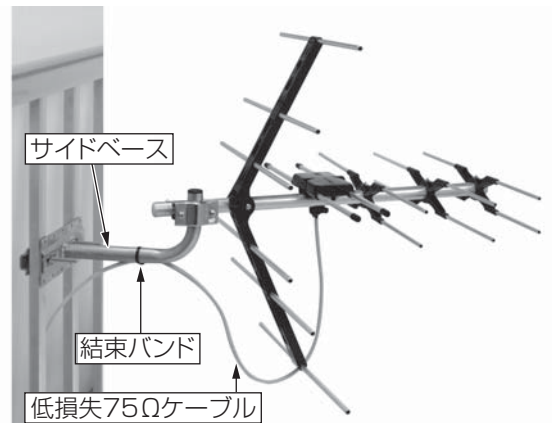
DH DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会
で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム
機器に付与されるシンボルマークです。

LS56構成部品

- UHFアンテナ LS56 ……1台
- 防水キャップ ……1個
- F型コネクター ……1個
(5Cケーブル用)
- 結束バンド ……1本
(ケーブル固定用)

LS56-SET構成部品

- UHFアンテナ LS56 ……1台
- サイドベース ……1個
(フェンス・壁面兼用取付金具)
- 低損失75Ωケーブル(4C)…15m
(片端にF型コネクター・防水キャップ付)
- F型コネクター ……1個
(4Cケーブル用)
- 結束バンド ……2本
(ケーブル固定用)
- ケーブルステップル ……5個



LS56-SET

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-----------	--	-----------	---

絵表示の例

	△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。		⊙記号は、禁止の行為を示しています。		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。
--	-----------------------------------	--	--------------------	--	---------------------------------

警告

- 雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

注意

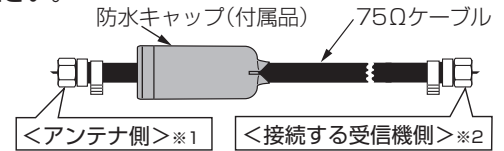
- 雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。
- 高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付け・支線張りなどの作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナや取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確認してから、アンテナや取付金具、サイドベースなどを必ず点検してください。アンテナが破損、変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線、高圧線、電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

F型コネクターの取付け

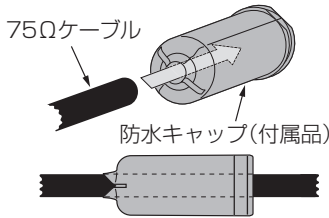
75ΩケーブルにF型コネクターを取付けます。確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクターははいてぬいに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- **LS56-SET**は4Cケーブルを付属しています。**LS56**は別売の75Ωケーブルをお使いください。
- **LS56**に付属のF型コネクターは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクターをお使いください。
- **LS56-SET**に付属されているF型コネクターは、4Cケーブル用です。

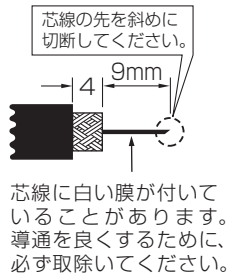


- *1 **LS56**は、付属のF型コネクターを取付けます。
- *2 **LS56**は、別売のF型コネクターを取付けます。
LS56-SETは、付属のF型コネクターを取付けます。

1 ケーブルを付属の防水キャップに通します。
(**LS56-SET**は、ケーブルに防水キャップが通っています。)

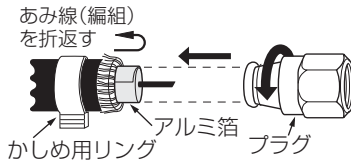


2 ケーブルを加工します。
(加工寸法は原寸大です)



3 プラグを取付けます。

- ① かしめ用リングにケーブルを通します。
- ② あみ線(編組)を折返します。
- ③ プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。



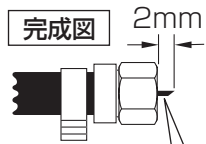
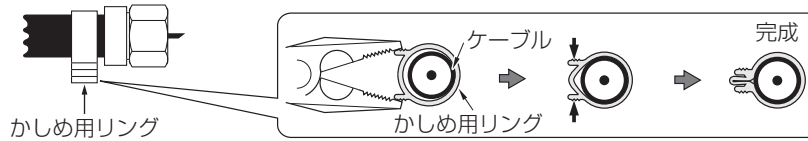
あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



4 かしめ用リングをペンチで圧着します。

コネクターが抜けないように、しっかりと圧着します。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

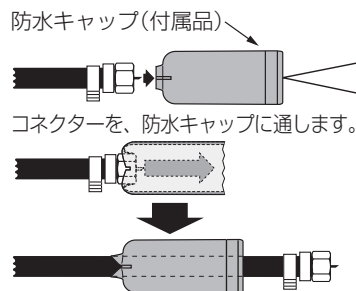
芯線が長すぎると、コネクターが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



コネクター取付け後でも防水キャップにケーブルを通せません



注意

防水キャップを通したときに、コネクターの芯線が目や指にささらないように注意してください。

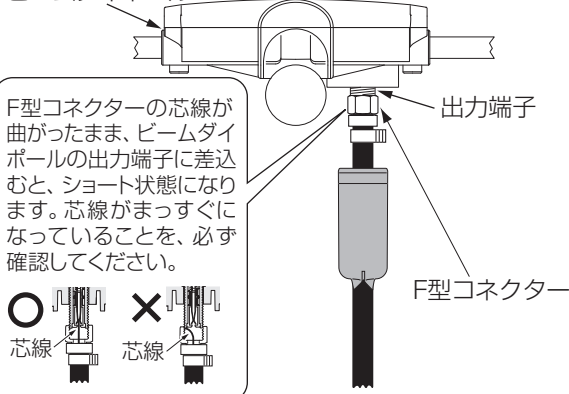
ケーブルの接続

75Ωケーブルをビームダイポールの出力端子に接続します。

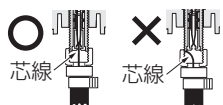
1 F型コネクター(防水キャップの通っている側)を、ビームダイポールの出力端子に接続し、11mmのスパナで締付けます。

- 締付トルク 2N・m(21kgf・cm)

ビームダイポール

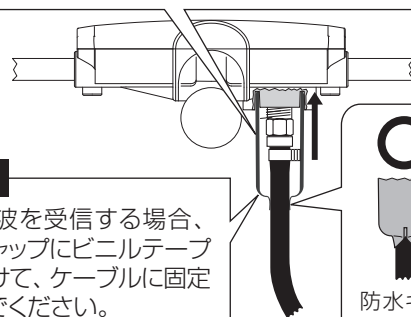


F型コネクターの芯線が曲がったまま、ビームダイポールの出力端子に差込むと、ショート状態になります。芯線がまっすぐにしていることを、必ず確認してください。



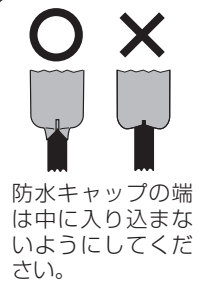
2 防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

- 防水キャップは確実に押し込んでください。
- 防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

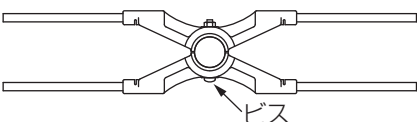


ご注意

水平偏波を受信する場合、防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。



ディレクターの固定について



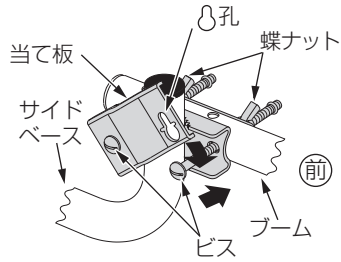
ディレクターを固定しているビスを直接締付けたり、ゆるめたりしないでください。特殊なビスのため、ディレクターが破損、脱落する原因となります。

アンテナの取付け

垂直偏波を受信する場合、下記「垂直偏波を受信する場合」もご覧ください。

コーナリフレクターを広げ、ビームダイポールを取付けてから、サイドベース、またはマストに取付けます。

サイドベース・マストへの取付け

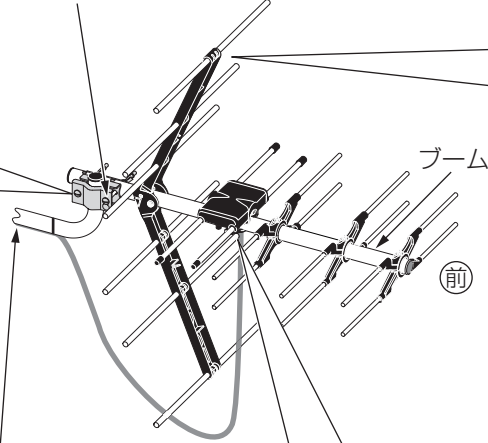


- ① 蝶ナットをゆるめ、当て板の孔をビスから外します。
- ② アンテナをサイドベース、またはマストに取付けてから、当て板の孔にビスの頭を挿入します。
- ③ 当て板の孔の小さい孔側にビスの頭をはめ込み、蝶ナットを均等に締付けます。(仮締めでかまいません)

サイドベース

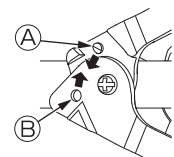
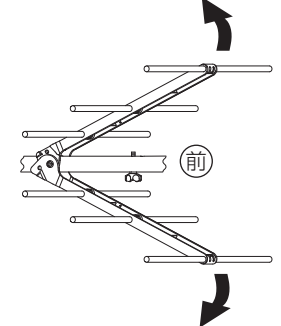
- **LS56**は、別売のサイドベース、またはマストをご使用ください。
- **LS56-SET**は、付属のサイドベースをご使用ください。

マスト固定金具(適合マスト径 22~39mm)



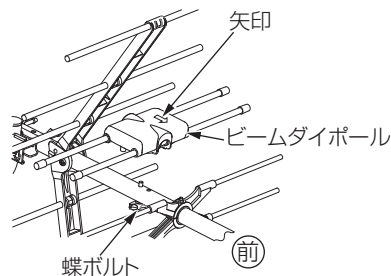
コーナリフレクターの広げ方

アンテナ後方に付いているコーナリフレクターを上下に広げます。



① Aの突起がBの孔に入り、カチッと音がするまで広げます。

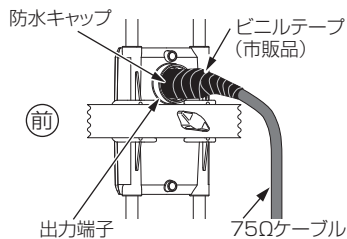
ビームダイポールの取付け



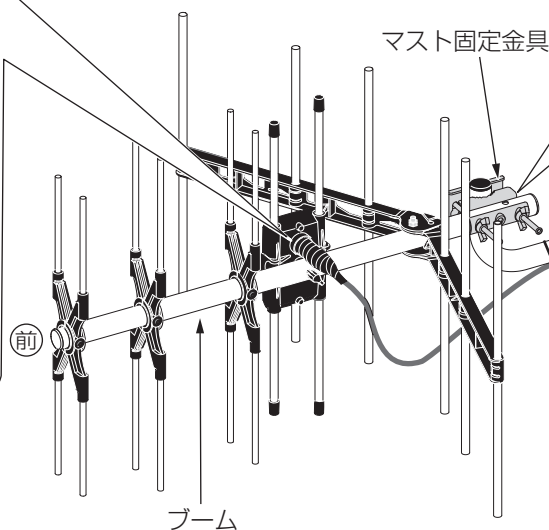
- ① アンテナ後方に付いている蝶ボルトで、ビームダイポールを取付けます。(矢印⇒を(前)側にしてください)
- ② 蝶ボルトを指定のトルクでしっかりと締付けます。
● 締付けトルク 1.3N・m(14kgf・cm)

垂直偏波を受信する場合

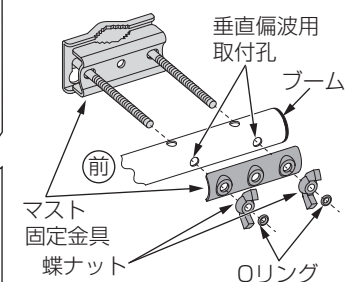
ビームダイポール



- 出力端子を上に出します。
- 防水のため、防水キャップに市販のビニルテープを巻き付けて、75Ωケーブルに固定してください。



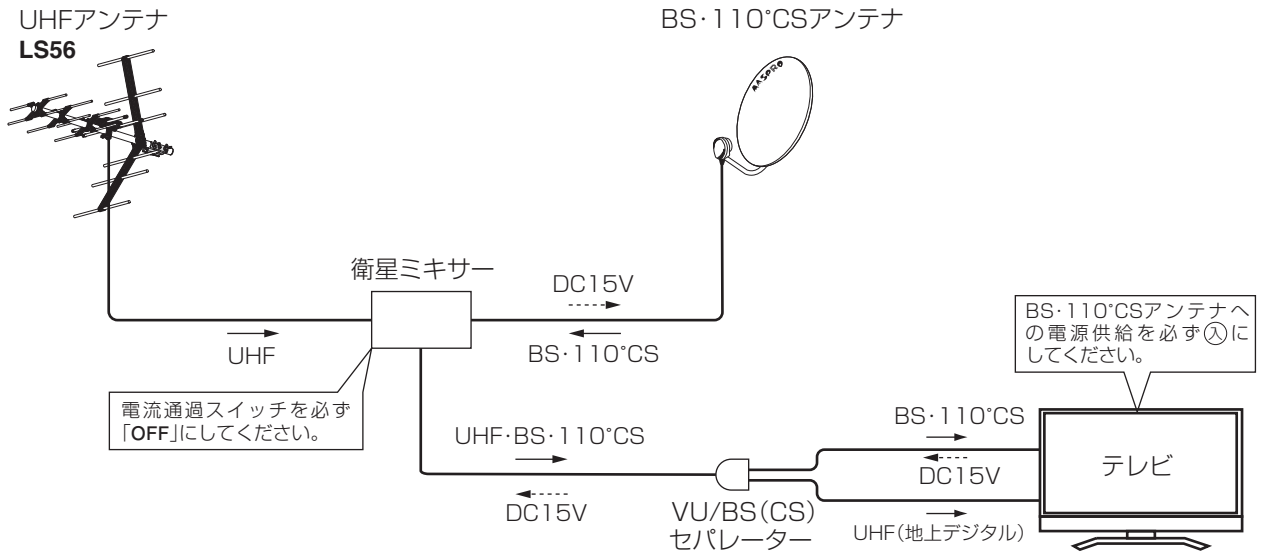
マスト固定金具の付換え



- ① マスト固定金具を取外して、垂直偏波用取付孔にマスト固定金具を付換えます。
- ② ビームダイポールの出力端子がブームの上側になるようにサイドベース、またはマストに取付けます。

接続例 BS・110°CSアンテナと混合して受信する場合

別売の衛星ミキサーを使用すれば、地上デジタル放送とBS・110°CSデジタル放送を混合して、1本のケーブルで引き込むことができます。



75Ωケーブルは、フェンスまたは壁面にそわせて、結束バンドやケーブルステップルなどを使用して配線してください。(LS56-SETは、結束バンドとケーブルステップルを付属しています)

ご注意

75Ωケーブルは無理に曲げないでください。(曲げ半径は40mm以下にしないでください)無理に曲げると、断線など、故障の原因となることがあります。

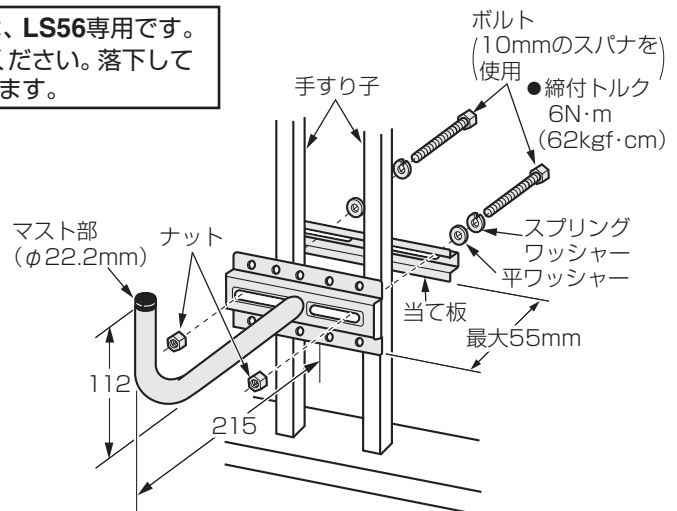
サイドベースの取付け (LS56-SET)

注意

LS56-SETに付属のサイドベースは、LS56専用です。LS56以外は、絶対に取付けしないでください。落下して事故やけがの原因となることがあります。

フェンスの場合

- 手すり子に取付ける場合、サイドベースはフェンスの根元に近い、丈夫な部分に取付けてください。
- ボルトは、手すり子にできるだけ近い位置で締付けてください。
- ボルトは、10mmのスパナを使用して、指定のトルクで締付けてください。

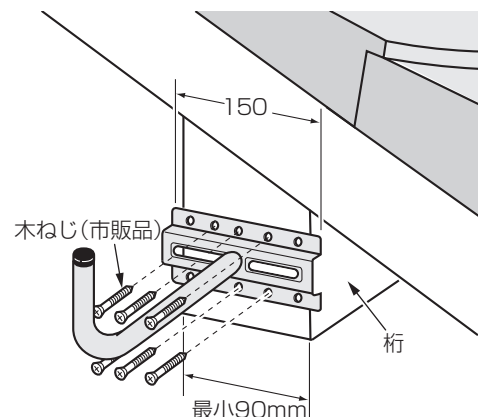


柱・桁・壁面の場合

- 必ず市販の直径5.1~5.5mmの木ねじで、6か所以上をしっかりと固定してください。
- 壁面に設置する場合、必ず工務店にご相談ください。

ご注意

サイドベースは、マスト部が必ず垂直になるように取付けてください。



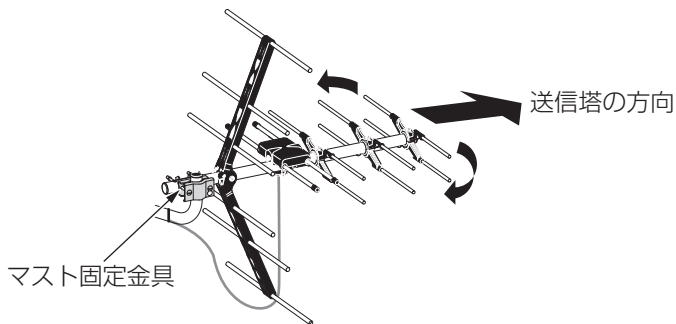
アンテナの方向調整

- 1 アンテナが左右に回転するように、マスト固定金具の蝶ナットをゆるめます。
- 2 初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、テレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルの設定をします。

ご注意

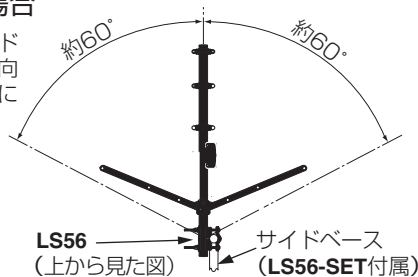
画面の表示は一例で、使用するテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

- 3 テレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に回転させてアンテナの向きを調整します。
- 4 調整後、マスト固定金具の蝶ナットを指定のトルクでしっかりと締付けます。
 - 締付けトルク 3N・m(31kgf・cm)

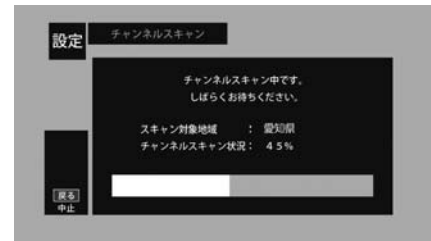


垂直偏波を受信する場合

LS56-SETに付属のサイドベースを使用する場合、方向調整できる角度は、左右に約60°です。

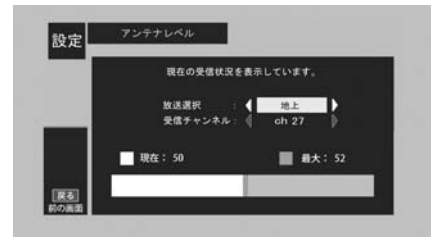


「チャンネルスキャン」の例



(画面の表示は一例で、使用するテレビで異なります。)

「受信レベル」の例



(画面の表示は一例で、使用するテレビで異なります。)

ご注意

- 電波の弱い場所では受信できません。また、強・中電界地域でも設置場所によっては、受信できないことがあります。
- 送信電力の低い特定のチャンネルだけ映らないこともあります。全チャンネルがきれいに映るように方向を調整してください。
- アンテナレベルは、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。マスト固定金具の変形や破損の原因となります。

きれいなテレビが見られないときは

症状	原因	処置
画像が出ない メッセージは、一例です。	コネクターの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> ●コネクターが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。 ●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。
	信号が来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。 ●F型コネクターの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。
	受信ができていない。	再度方向調整をしてください。
画像にモザイク状のノイズが出ている 	受信レベルが低い。	<ul style="list-style-type: none"> ●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。 ●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。

規格表

Specifications

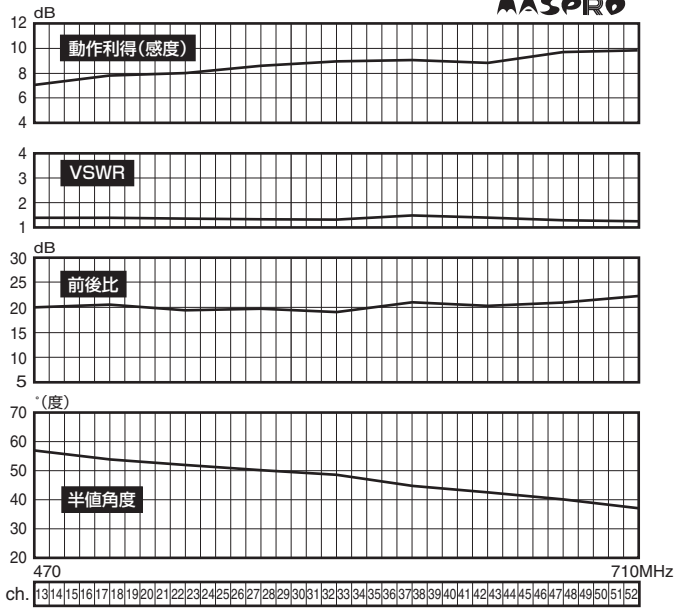
MASPRO

項目 Items	規格
受信チャンネル Reception Channels	ch.13~52
エレメント数 Number of Elements	5
動作利得(感度) Gain	7.1~10.1dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下
前後比 Front-to-Back Ratio	16~25dB
半値角度 Half Power Beam Width	35~59°
インピーダンス Impedance	75Ω (F型端子)
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter ※	22~39mm
外観寸法 Dimensions ※	560(L) × 390(W) × 544(H) mm
質量(重量) Weight ※	約650g

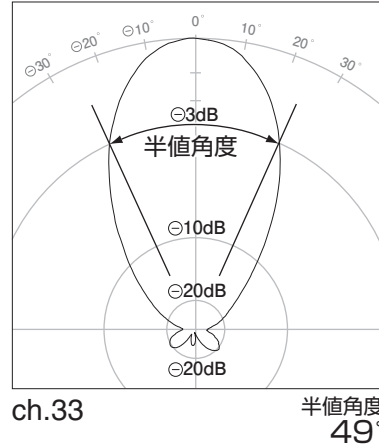
※ 適合マスト径・外観寸法・質量(重量)は、LS56単体のものです。

性能

MASPRO



MASPRO



Master of PROduction
生産の覇者

マスコ電気

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

営業部 TEL名古屋(052)802-2244
受付時間 9~17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

MAR.,2015